

災害対応訓練

3月13日(日)災害を想定しての訓練を行いました。当院には建築から年数の経っている建物もあり、耐震、防火は、大きな課題の一つです。今回の状況設定を次のようにし、

3月15日(火)、10:00 南海トラフ(和歌山南方沖)を震源とする地震発生。堺市内は震度5強の地震発生、沿岸部には津波予報があるが、病院近隣には津波はなし。



救急病棟保護室の倒壊の恐れや、パニックになる患者さん、気分が悪くなる患者さん、けが人等が出たことを想定し、医療者、患者役に分かれ、訓練を実施しました。

ポイントとして

- 災害対策本部は各職場からの情報を集約し、被災状況、受入れ可能患者数、応援指示など行う。
- 各職場は被災状況や患者さんの状況、応援の要否、応援に出せるスタッフの要否を確認し災害対策本部へ報告する。
- 設備管理者は院内のライフラインの確認をし、衛星電話のデモを行う。
- 当院患者さんの状況確認、手当てが完了したら、現地指揮所を立ち上げて、地域からの受入れのため、黄、緑、赤、黒各ゾーンを設置する。

上記をかかげ、当日は勤務スタッフ以外150名が参加する中、2時間程度の訓練を行いました。訓練後には参加者が集まり、訓練を振り返りました。初めての訓練だったため、シナリオも詳細に作成しましたが、詳細が決まっているため、連絡より先に動き、応援がきた頃には対応が終わっているなど反省点も多々ありました。このような訓練を今後も定期的に行い、災害時にも地域に貢献できる病院を目指して取り組んでいきたいと考えております。

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定



この号が出る頃にはこぼれるばかりの花でいっぱいになっていると思います。院定の春をお楽しみください。

はな 花もも

- ハナモモ(花桃)は、バラ目バラ科サクラ属の耐寒性落葉低木。
- 原産地は中国。
- 花を觀賞するために改良されたモモで、花つきがよいため、主に花を觀賞する目的で庭木などによく利用されます。日本で数多くの品種改良が行われ、種類が豊富です。觀賞用のハナモモとして改良が行われるようになったのは江戸時代に入ってからで、現在の園芸品種の多くも江戸時代のもので多いようです。
- サクラの開花前に咲くことが多く、結実するが実は小さく、食用には適しません。

平成28年4月より診療報酬改定に伴い、入院食事療養費(食事代)が変更となります

3月31日まで1食 **260円** → 4月1日より1食 **360円**

但し、次の方は対象から外れます。ご不明な点はお問い合わせください。

- ◆所得区分「オ」「区分Ⅱ」「区分Ⅰ」生活保護受給の方
- ◆食事療養標準負担額助成証明書をお持ちの方
- ◆平成28年3月31日において1年以上継続して入院している方(経過措置として当分の間)

ご理解のほど、お願い申し上げます。

■外来診療表

外来診療時間/9:00~12:00(受付は11:30まで) 平成28年1月現在

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診		秋田	松島	橋元	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	花房	大矢	濱田	戎	小林	安藤
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	福田晋	土井	正路	永松	土井	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋本	作田	小深田
8 診		荒川	西村	河野		
9 診	熊取谷	柏木	後藤	大浦	長谷川	熊取谷
診(心)		清水	中井	山下		

*医師の急な都合により、変更・休診となる場合がございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 111床(D2,E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768

泉ヶ丘グリーンフェスタ 2016

4回目を迎えるグリーンフェスタに今年も参加させていただきました。
毎年、3月初旬の肌寒い頃に行われるイベントですが、今年は3月20日(日)春分の日ビッグバン前交流広場で行われました。

イベントは泉ヶ丘駅前地域の、花と緑豊かな環境づくりを進めるきっかけづくりとして、また駅前地域のにぎわい創出のために開催されています。当院は庭園療法の紹介で参加、ローズマリー水や、デイケアからあさがおの種を持参しお配りしました。体験コーナーとしては、シールアートやハーブのブレンドなどご自身でしていただき、楽しんでいただきました。ステージではチャリーディングやご当地キャラクターのショーが行われ、広場では緑・エコに関する展示ブースのほか、エコクラフトづくりや楽しい縁日もあり終日にぎやかでした。朝夕は風の冷たい気候でしたが、お昼前から気温が上がり、半そでで走り回っている子どもたちもいるほど快晴の1日でした。



学んで安心「認知症」

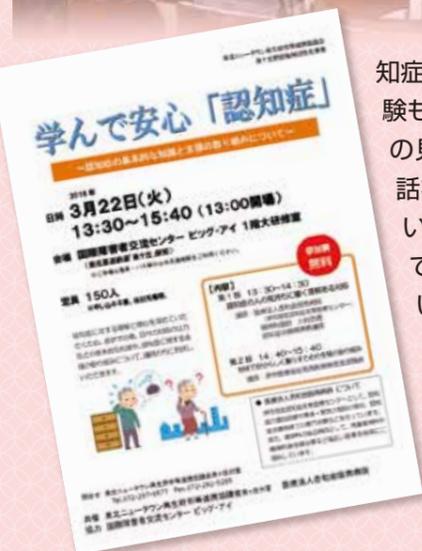


3月22日(火)泉北ニュータウン再生府市等連携協議会が主催し、当院も共催として参加させていただいた、『学んで安心「認知症」』と題したイベントがビッグアイで開催されました。

当院からは「認知症の人の気持ちに響く理解ある対応」と題し、精神科の川村吉彦先生の講演と認知症病棟劇団すまいるによる寸劇が披露されました。

会場には120名という多くの方が来場されました。講演では、認知症の人に対する対応の基本や、寸劇では認知症の方への声掛けなど丁寧に説明がなされました。お話しの中では、アルツハイマー型やレビー小体型といった認知症や、それらへの対応が説明されました。その中でも認知症の人には意思も経験もあり、そこを尊重し、「わからない人」と扱ってしまわない。そして認知症の人の

見ている世界を理解することが重要で、話を聞いてみる、反応をみる、どう思うか聞いてみるなど積極的なアクションが大切であることが解説されました。わかりやすいスライドに、みなさん熱心に聞いておられました。イベントは、堺市健康福祉局の「地域で自分らしく暮らすための支援の取り組み」という講演と二部構成で開催され、盛況のうちに閉会いたしました。



 **当院は敷地内完全禁煙です**

医療機関紹介 **renkei bookmark**

医療法人 良秀会 高石藤井病院

平成13年、高石市に誕生した当院は、今年開院15年を迎えます。
当院はこれまで、腎・透析領域、循環器疾患および消化器疾患領域を中心に、地域医療を提供してまいりました。また、救急指定病院として、高石市およびその周辺の地域の方々の救急搬送を受け入れてまいりました。

当院の病床数は159床ですが、昨年よりその病床を、急性期病床、地域包括ケア病床、回復期リハビリ病床および医療療養病床の4つとしました。ひとつの病院の中にこのような様々な形態の病床を有することで民間病院の特色であるフットワークの良さを十分に生かし、地域の利用者のさまざまなニーズに応えるべく体制を整えた次第です。

これからも、当院が得意とする分野で、専門性が高くかつ質の高い医療と介護を、包括的かつ継続的に提供できるよう努めてまいります。



院長 佐藤 弘章 先生

- 住所 〒592-0014 高石市 綾園1丁目14番25号
- 電話番号 072-262-5335 (代表)
- HP <http://www.ryoshukai.or.jp/>
- 最寄駅 南海本線 高石駅
- 診療科 内科、消化器内科、腎臓内科、心療内科、外科、整形外科、消化器外科、脳神経外科、肛門科、皮膚科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、人工透析センター

関西エコオフィス奨励賞を受賞しました



いつも節電にご協力いただきありがとうございます。今回、関西広域連合(近畿2府5県)が主催する平成27年度関西エコオフィス大賞の奨励賞を受賞しました。この関西エコオフィス大賞は、「冷暖房機器の温度設定の取り組み」、「夏冬エコスタイルなど身近なところから取り組む省エネルギーに関して」など、従業員が一体となって優れた取り組みを行っている事業所を表彰するものです。大賞1社、奨励賞4社が選ばれました。

今回、阪南病院が受賞した奨励賞は、特に「省エネ効果」や「他への波及可能性」など、他社にも推奨できる取り組みを実施している事業所に贈られる賞です。受賞理由は、毎月のポスター作成による節電啓発、空調機の設定温度(夏26℃、冬22℃)の励行、会議での情報伝達など、病院内で継続し実施していることが受賞につながりました。これからも地球環境への配慮を目的とし、省エネ、節電に取り組んでいきたいと考えております。

経理課 森川 秀和